

本美濃紙でしおり作り挑戦

ぎふしん 保存会長招き体験会 記念財団



本美濃紙を使った紙でしおり作りをする参加者
＝岐阜市神田町、G's Dream

ぎふしん記念財団は、本美濃紙の魅力を学ぶイベントを岐阜市神田町の岐阜信用金庫の「G's Dream」で開催し、県内外から約20人が参加した。
美濃竹紙工房（美濃市）

代表で美濃手すき和紙協同組合理事長の鈴木竹久さんと妻で本美濃紙保存会長の豊美さんが講師を務めた。本美濃紙を含む「和紙日本の手漉和紙技術」は2014年に国連教育科学文

化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録された。竹久さんは本美濃紙の特徴として、縦や横に揺らして紙

を整える技法を紹介し、「薄くて丈夫な紙に仕上がる」と説明した。

その後、参加者は本美濃紙をコウゾの産地である茨城県や岐阜県の形に切り抜いた紙でしおり作りに挑戦。タマネギやヨモギなど

で染めた花びらや星といった紙片をしおりに貼り、飾り付けた。

竹久さんは「伝統を次世代へ受け継ぐために、完成したしおりを周囲に披露して発信してほしい」と呼びかけた。
（佐合千子）